

喪中はがき

寒中見舞い



はんぞんさん21

喪中はがきQ & A

喪中はがきはいつ頃までに先方にお出しすると良いのでしょうか…？

年賀状の受付が12月15日から始まります 12月の初旬までに先方へ届くようにするのが良いでしょう

喪中の挨拶状を出す範囲は…？

一般的には 本人からみた二親等までの不幸とします 世帯を別にしていない場合は必要ないという風潮がありますが ご本人との絆が深く喪に服したい意向がある時は 喪中の挨拶状を出しておられます

亡くなった人の呼称は…？

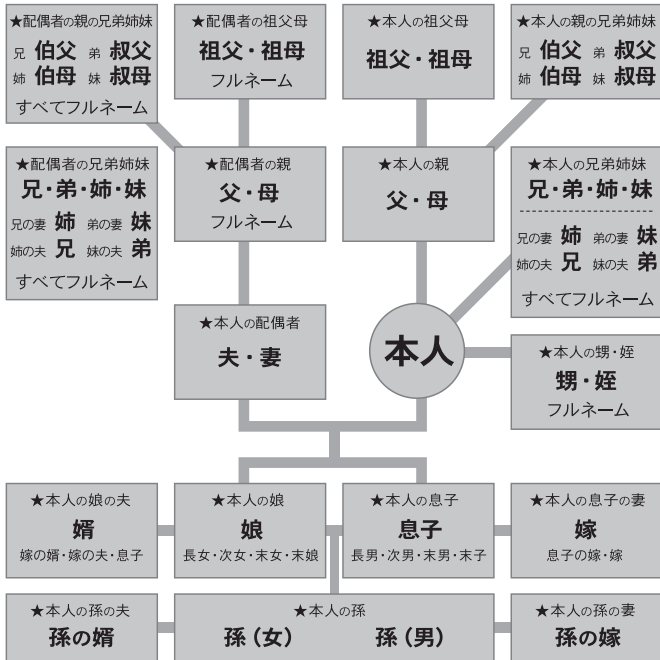
とくに決まった言い回しはありません 両親の場合は「父」「母」が一般的であり 結婚されている方は差出人が夫側連名であることが多くどちらの父母が亡くなられた場合でも「父」「母」と記せば問題ありません
結婚したことにより親が4人になったという考え方に基ついています
※故人の呼称は下表を参考にしてください

亡くなった人の年齢は…？

一般的に満年齢ではなく「数え年」の年齢で表現します
「数え年」とは 生まれた年も一歳として数える年齢です

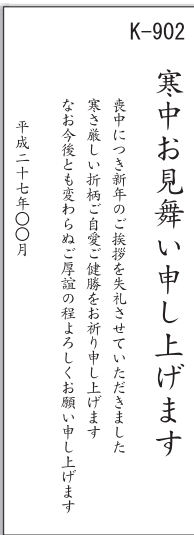
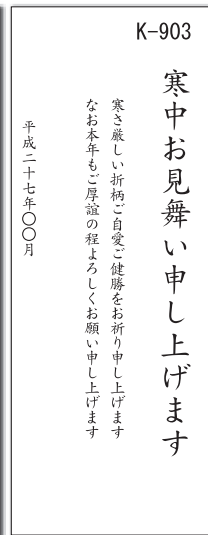
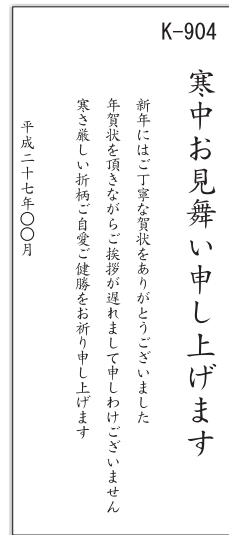
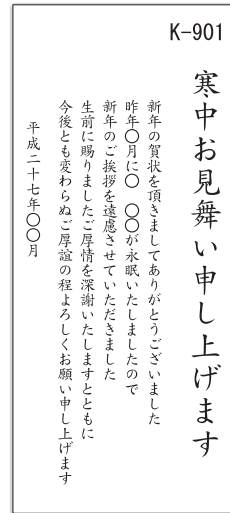
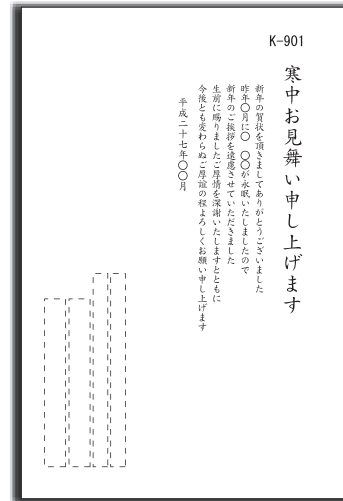
本人(差出人)から見た続柄早見表

- 多く使用される呼称のみ掲載してあります
- 性が異なる場合は基本的にフルネームで表記するのが一般的です
- 父方母方は原則として同じ扱いです



寒中見舞い

私製はがき代別途



本来年賀状を出す時期が済んだ後に出す季節の挨拶状ですので、松の内(元旦から7日)明けから立春(節分の翌日)で2月4日頃までに出すのが一般的です。また、下記のような場合にも使用します。

- 時期的な都合から喪中の挨拶状を出すことができず年賀状を受け取ってしまった場合
- 年賀状を出した相手が喪中であることに気付かずそれを陳謝する場合
- 喪中はがきを受け取った人が年賀状の代わりとして出す場合
- 年賀状をついつい出しそびれた場合